

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 2 年 4 月 7 日

事業名称		財政事務費 [予算編成事務]					
予算科目	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 4 財産管理費	事業番号 1			
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの					
担当部署・課長名		財政 課 財政担当			課長名		鈴木 俊也
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号		行 ー 1
【施策名】 適正な財政運営					総合計画書 (ページ)		119
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 施策(事務事業)			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) ①当初予算における施策(事務事業)の数 ②補正予算後における施策(事務事業)の数			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 限られた財源の中での施策の充実(成果向上)が図られる。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ①当初予算の額 ②補正予算後の額			
	③ そのために何をしましたか。 毎年10月から次年度の当初予算(施策)について見積書を作成し、その内容の調整及び査定を行いながら予算を編成している。また、当初予算編成後の状況変化等に対応する補正予算を編成している。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①当初予算の額 ②補正予算後の額			
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標 令和3年度目標
	対象指標	①の数値	①件 ②件	337 350	337 348	361 375	
	成果指標	②の数値	①回 ②回	1 5	1 5	1 5	
	目 標	②の目標値					
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)							
3 経費	事業費(実績)		円	3,783,688	3,887,492	3,800,330	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	3,783,688	3,887,492	3,800,330	
		特定財源	円				
	(うち受益者負担)		円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	3.0	3.0	3.0	
		所要人数(再任用)	人				
		職員人件費(再任用以外)	円	24,759,000	24,732,000	24,930,000	
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	28,542,688	28,619,492	28,730,330		
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 平成30年度決算に基づく一部の事業別財務書類の試行作成を行った。今後、作成する事業別財務書類の数を増やし、他団体の同種事業との比較、分析を行う必要があると考える。						
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 予算編成において、平成28年度決算から作成を開始した統一的な基準による財務書類を活用するため、引続き事業別財務書類の作成を進める。また、他団体の財務書類の情報収集を行い、各事業において比較分析を進めることにより、適正な規模の予算を計上する。						